

ワクチン新聞

令和元年 初夏号

発行：田辺三菱製薬株式会社 大阪市中央区道修町3-2-10

TOPICS

- 短期の海外渡航でも、事前にワクチンの接種状況をチェック
 - 帯状疱疹は予防できる病気です
- 監修：川崎医科大学小児科学教授 中野 貴司 先生



短期の海外渡航でも、事前にワクチンの接種状況をチェック

海外では、日本ではみられない感染症が流行していることがあります。短期の海外渡航でも、病原体に出会えば感染する可能性があります。安全で健康な海外渡航のために、旅行中の生水・氷・生食や、虫さされ、動物、薬物、性交渉などに注意しましょう。

渡航地で流行する感染症や医療事情などの情報は、厚生労働省検疫所（FORTH）や外務省のウェブサイトなどで入手できます。海外渡航の前に接種すべきワクチンは、滞在地域・滞在期間・旅行中の行動予定などに応じて、麻しん、風しん、破傷風、ジフテリア、ポリオ、日本脳炎、狂犬病、A型肝炎、B型肝炎、インフルエンザなどが考えられます。これまでに自分やお子さんが受けた予防接種を母子健康手帳などで確認のうえ、海外渡航までの日数に余裕をもって、医師にワクチン接種の相談をするなど適切な感染予防に努めましょう。

渡航地で流行する感染症や医療事情などを確認できます

● 厚生労働省検疫所（FORTH）

<https://www.forth.go.jp/>

→ 渡航先で流行する感染症、海外渡航者向け予防接種実施機関など

● 外務省：世界の医療事情

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

→ 渡航先の衛生・医療事情、医療機関、必要な予防接種など



帯状疱疹は予防できる病気です

水痘帯状疱疹ウイルスは、初めて体に入るとみずぼうそう（水痘）を引き起こし、みずぼうそうが治った後も生涯にわたり体内（神経節など）に潜んでいます。そして加齢、疲労、ストレス、悪性腫瘍、免疫力の低下などをきっかけに、ウイルスが再び力をもりかえすと、帯状疱疹を発症します。帯状疱疹の症状は、体の片側に帯状にできる、痛みを伴うみずぶくれなどです。みずぶくれや唾液などには水痘帯状疱疹ウイルスが含まれ、感染性があります。みずぶくれなどが治ると痛みは消えますが、約10～50%の人は長期間にわたり痛みが残ります（帯状疱疹後神経痛）*。

帯状疱疹は、50歳以上で発症する人が急激に増え、80歳までに3人に1人が経験すると推定されます。日本人は成人の90%以上がみずぼうそうにかかっており、帯状疱疹を引き起こす可能性があります*。高齢化が進む日本で、今後増加すると考えられる病気です。

50歳以上の人は、帯状疱疹を予防するために、任意接種として帯状疱疹ワクチンを接種できます。帯状疱疹ワクチンは、帯状疱疹の発症率を低減し、重症化を予防するために接種するもので、日本をはじめアメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ諸国など世界60カ国以上で使用されています*。関心のある方は医師に相談してみましょう。

帯状疱疹の年代別の患者割合**



*「帯状疱疹ワクチンファクトシート 平成29（2017）年2月10日」（国立感染症研究所）を参照
**外山 望：帯状疱疹大規模疫学調査「宮崎スタディ（1997～2017）」アップデート. IASR 39, p139-141: 2018 を参照

感染症Q&A

Q 海外でインフルエンザが流行する時期は？

A インフルエンザは日本では主に12～3月に流行しますが、世界では国や地域により流行期が異なります。例えば、南半球にあるオーストラリアでは、6～9月にインフルエンザが流行します。世界を見渡すと、年間を通じ低レベルで発生する地域や、複数回流行する地域もあります。流行状況はWHOのウェブサイト (https://www.who.int/influenza/surveillance_monitoring/updates/en/) などで入手できます。インフルエンザにかからないためには、流行前のワクチン接種、外出後の手洗い等、湿度の保持、休養と栄養、人混みを避けることなどが有効です。

ワクチン質問箱

質問 帯状疱疹ワクチンは、インフルエンザや肺炎球菌ワクチンと同時接種できますか？

回答 帯状疱疹ワクチンは、任意接種として50歳以上で接種できます。一般的に帯状疱疹ワクチンは、インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンと同時接種はしていません。生ワクチンは接種から中27日以上、不活化ワクチンは接種から中6日以上、間隔をあけてから、別の種類のワクチンを接種します。例えば、不活化ワクチンであるインフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種後であれば、中6日以上あけて帯状疱疹ワクチンを接種します。しかし、医師が特に必要と判断した場合は、他のワクチン（生ワクチン、不活化ワクチン）と同時に接種できます。

ミニコラム

帰国後に体調が悪くなったら

帰国時に発熱、咳、下痢などの体調不良、動物に咬まれた、蚊に刺されたなど健康上の心配がある場合は、空港や港に設置された検疫所で相談できます。感染症により潜伏期間が異なるため、渡航中や帰国直後に症状がなくても、しばらくたってから体調が悪くなることがあります。その際は医療機関を受診し、海外に行ったこと（渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触）やワクチン接種歴などを伝えましょう。



ご存じですか？

30年以上にわたり、子どものみずぼうそう(水痘)予防に使用されてきた水痘ワクチンが、50歳以上の方の带状疱疹予防に使用できるようになりました。

带状疱疹は、80歳までに
約3人に1人がかかる身近な病気です。

たい じょう ほう しん

带状疱疹

は、

ワクチンで予防できる感染症です。

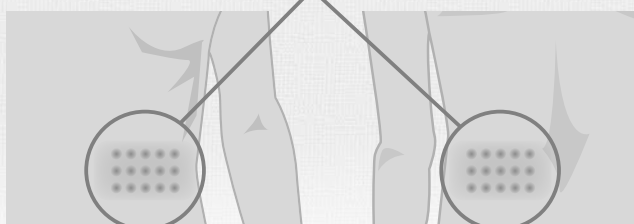


50歳になったら、
接種しましょう。



? 带状疱疹(たいじょうほうしん)

带状疱疹は、「みずぼうそう(水痘)」にかかったことのある人になる病気で、水ぶくれを伴う赤い発疹が、体の左右どちらかに帯状にでます。



チクチク、ピリピリ、ズキズキ、
強い痛みを伴うことが多く、
発疹が治っても、長い間(3~6ヵ月
以上)痛みが続くこともあります。

監修：浅田秀夫先生(奈良県立医科大学 医学部 皮膚科学講座)

带状疱疹の予防接種をご希望の方は、当院窓口でお申し込みください。

 田辺三菱製薬